

デジカメの使い方

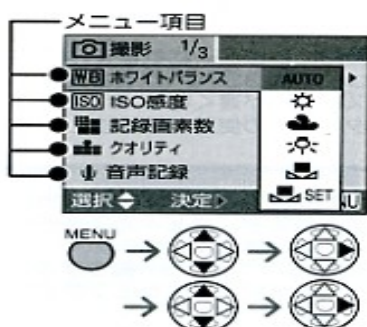
- 1、ISO感度
- 2、記録画素数
- 3、ホワイトバランス
- 4、解像度

撮影メニューを使う

モードダイヤル設定：

色合いや画質調整などを設定すると、撮影のバリエーションが広がります。

- モードダイヤルを撮影するモードに合わせてください。



- ズームレバーを回すと、1/3、2/3、3/3 とページが切り換わります。
- 設定終了後、シャッターボタンを半押しまたは [MENU] ボタンを押して、メニューを終了してください。

※画面イラストは DMC-FX7 です。

- WB** : ホワイトバランス (P59)
- ISO** : ISO 感度 (P61)
- 記録画素数** : 記録画素数 (P61)
- クオリティ** : クオリティ (P62)
- 音声記録** : 音声記録 (DMC-FX7 のみ) (P62)
- AF** : AF モード (P63)
- AF*** : AF 補助光 (P64)
- SLO** : スローシャッター (P64)
- デジタルズーム** : デジタルズーム (P65)
- カラーエフェクト** : カラーエフェクト (P65)
- 画質調整** : 画質調整 (P65)
- コマ撮りアニメ** : コマ撮りアニメ (P66)

ISO 感度

モードダイヤル設定：

ISO 感度とは、光に対する敏感さを数値で表したもので、数値が高くなるほど、暗い場所での撮影に適しています。

- [AUTO] を選ぶと、明るさに応じて ISO 感度を下記の範囲で自動的に高くしていきます。
DMC-FX7: [ISO80] ~ [ISO200]
DMC-FX2: [ISO64] ~ [ISO200]
[フラッシュ使用時は [ISO100] ~ [ISO400]。]
ただし、フラッシュを赤目軽減スローシンクロ に設定している場合は、[ISO100] に固定されます (DMC-FX7/DMC-FX2 共通)]

ISO 感度	80 ← → 400 (DMC-FX7)
	64 ← → 400 (DMC-FX2)
屋外など明るい場所での撮影	適している ← → 適していない
暗い場所での撮影	適していない ← → 適している
シャッタースピード	遅くなる ← → 速くなる
ノイズ	少ない ← → 多い

- かんたんモード 、動画モード 、シーンモード (P52) の時は [AUTO] 固定になります。

- ノイズが気になるときは、ISO 感度を低くするか、[画質調整] を [ナチュラル] にして撮影することをおすすめします。(P65)

記録画素数

モードダイヤル設定：

大きい記録画素数を選ぶと、鮮明にプリントすることができます。小さい記録画素数 (640×480) を選ぶと、画質は劣化しますが、1枚のカードにより多く記録できます。また、データ容量が小さいので、電子メールの添付画像やホームページ用画像などに使用するとき有効です。

項目	記録画素数
2560 (DMC-FX7)	2560×1920 画素
2304 (DMC-FX2)	2304×1728 画素
2048 (DMC-FX7)	2048×1536 画素
1600	1600×1200 画素
1280	1280×960 画素
640	640×480 画素
HDTV	1920×1080 画素

- [HDTV] で撮影した画像をハイビジョンテレビで再生する方法については、87 ページをお読みください。
- [HDTV] で撮影した画像は、プリント時に両端が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。(P111)



撮る・応用2

WB ホワイトバランス

モードダイヤル設定：

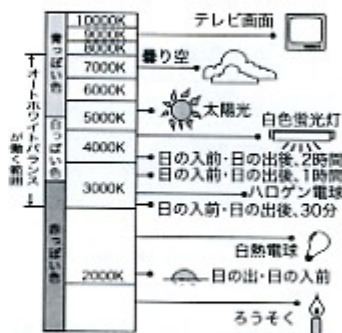
太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、見た目に近い白色に調整します。

項目	撮影状況
AUTO (オート)	自動で設定するとき
(晴天)	屋外晴天下で撮影するとき
(曇り)	曇天や日陰で撮影するとき
(白熱灯)	白熱灯下で撮影するとき
(セットモード)	あらかじめセットしている設定を使用するとき
(セットモード)	新しくホワイトバランスを設定するとき

- [AUTO] 以外に設定すると、ホワイトバランスを微調整することができます。

■ オートホワイトバランスについて

オートホワイトバランスが働く範囲は、図のとおりです。範囲外での撮影では、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、図の範囲内であっても、光源が複数の場合は、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、手動でホワイトバランスを [AUTO] 以外に設定して調整してください。



■ セットモードについて (SET)

手動でホワイトバランスを設定したいときに使用します。
[SET] (セットモード) に設定して、 を押してください。白い紙などに本機を向けて、画面の中央の枠内に白いものだけが写るようにし、 を押してください。



■ ホワイトバランス微調整 (WB) について

ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

- ホワイトバランスを / / / に設定しておく。(P59)



▲ ボタンを数回押し、[WB] WB 微調整 を表示させ、ホワイトバランスを調整する

- ▶ : 青 (赤みが強い場合)
- ◀ : 赤 (青みが強い場合)

WB

ホワイトバランスについて

- かんたんモード [♥] 時は、[AUTO] に固定されます。
- フラッシュ撮影すると、フラッシュ光に遇したホワイトバランスが自動的に設定されますが [晴天] を除く、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。

ホワイトバランス微調整について

- ホワイトバランスを微調整すると、液晶モニターに表示されるホワイトバランスアイコンが赤、または青に変わります。
- ホワイトバランスの各モードで独立して微調整することができます。
- ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
- [SET] (セットモード) で新しくホワイトバランスを設定し直したときは、微調整レベルは "0" に戻ります。
- カラーエフェクト設定 (P65) を [クール]、[ウォーム]、[白黒]、[セピア] のいずれかに設定しているとき、ホワイトバランスの微調整はできません。

● 解像度の設定

600万画素デジカメは約3000×2000画素の高精細写真を撮れる能力を持っています。300万画素デジカメなら約2000×1500画素の精細写真です。

でも画質の設定を「最高」や「スーパーファイン」にしておかないと、この高画質を得られません。デジカメを購入したときは、通常この設定になっていないので、あらかじめ確認しておくことが肝心です。



画質は「画像サイズ」と「圧縮率」の2項目で設定します。画像サイズが大きいほどキメ細かい写真に、圧縮率が低いほど滑らかな写真になります。通常、数値が最大で最も高画質になる設定を選びます。この2項目を一緒に設定するデジカメもあります。



画像サイズ=最大 (2272×1704)、圧縮率=最低 (スーパーファイン) で撮ったもの。拡大してみると、細部までしっかりと写っています。

画像サイズ=標準 (1024×768)、圧縮率=最高 (ノーマル) で撮ったもの。細かい部分が再現されず、写真全体の確認にしか使えません。



2 画素数と印刷サイズの関係は？



画素数と解像度による適正な印刷サイズの目安

一定のサイズで印刷した場合、写真の画素数が多いほど、よりきれいに印刷することができます。下表は、画素数と適正な印刷サイズの関係を解像度ごとにまとめたものです。

最良の印刷結果を得るためにも、下表を参考にして、目的の印刷サイズに適正な解像度や撮影時の画素数を確認しておきましょう。

画素数と解像度と印刷サイズの相関表

画素数 (ピクセル数)	印刷サイズと印刷に適合する用紙			
	解像度 200dpi		解像度 350dpi	
	縦×横(mm)	用紙	縦×横(mm)	用紙
500万画素 (2,560×1,920)	244×325	Lサイズ・ハガキ B4 A4	139×186	A4
400万画素 (2,288×1,712)	217×291		124×168	
300万画素 (2,048×1,536)	195×260		111×149	
200万画素 (1,600×1,200)	152×203		87×116	
130万画素 (1,280×960)	122×163		70×93	
80万画素 (1,024×768)	98×130		56×74	
30万画素 (640×480)	61×81		46×35	

- A4サイズ：297mm×210mm
- B5サイズ：257mm×182mm
- Lサイズ：127mm×89mm
- はがきサイズ：148mm×100mm